



ふーどばんく OSAKA 通信

2014年5月号 vol.2



ふーどばんく OSAKA が 1 周年を迎えました。

当法人は、2012年11月に設立され、2013年4月より堺市東区を拠点として取り組みをはじめました。「食べ物をたいせつにし、もったいないをありがとうの言葉にかえ、お互い支えあう社会を築きたい」とのおもいをもって、全国でフードバンク活動が続ける団体は、現在、約40団体となっています。

ふーどばんく OSAKA は、4月で1周年を迎えました。食品提供施設・団体も50施設・団体を超え、食品配送時は「いつも、ありがとうございます」の言葉と笑顔でむかえられています。これも、ひとえに、みなさまのお力添えの賜物と思っております。これからも、ますます、活動にまい進していきますので、よろしくお願いいたします。

堺市長 竹山 修身様よりメッセージを頂きました。

ふーどばんく OSAKA に期待すること

特定非営利活動法人ふーどばんく OSAKA の設立一周年を心からお祝い申し上げます。

飽食の時代と言われる今、まだ食べられる食品が廃棄される一方、経済的理由により十分な食事を摂れない人々も多数存在します。

誰もが健康で文化的な生活を営むためには、食糧の確保が不可欠です。貴法人におかれましては、従来は廃棄対象とされていたものを譲り受け、児童養護施設等は無償で提供いただく橋渡しの役割を担われ、社会福祉の増進とあわせ、食の有効活用、環境負荷の削減におおいに貢献いただいています。

皆様の活動が食を通じた社会貢献活動として、今後も一層発展していくことを期待しております。



堺市長 竹山 修身



今回は理事長にインタビューしました！！

●フードバンクとは日本ではあまり知られていない活動ですが

東京のフードバンクの活動などを学ぶと日本と外資系企業の違いみたいなものが垣間見られます。やはり、日本企業は、「困っている人たちへ食品を提供する」という、いわば「奉仕の精神」からという考え方が非常に強いように思います。しかし、外資系の企業の考え方はどうも違うように思え、もっとドライな考え方といった方が良いのか？「してあげる。してもらおう」という考え方を排した関係を望んでいるように感じます。

生産者は、自分たちが製造し、出荷の段階で破損したり、何らかの理由で販売できなくなった商品が、「もう一度日の目を見ることはできないのか。」「何か活用方法はないのか」「食べる分には不都合はないのに、商品として販売できないとは……」といった廃棄したくない思いが、「食べ物を必要としている人に無償で届けよう」と始まったのが「フードバンク」活動ではないかと思っています。「かわいそうな境遇にある人たちへ食品を」という奉仕の考え方ではなく、製造したものが廃棄されることなく最後まで無駄を最小限に止める方法の一つとして登場した考え方だと強調します。

●この活動に関わろうと思った動機、これからの夢は？

この活動に取り組もうとした動機やきっかけとはいかなるものであったのか、社会的起業は人権活動にとって、どんな役割を担うものであるのか明らかにする必要があります。

まず第1には、金儲け優先の企業ではなく、地域や社会への再投資という考え方を取り入れようとする試みであるという点です。差別や排除、忌避といった社会の現実に対して、公が解決しなければならない課題と、地域側からの行動、仕掛けが必要となっており、そこを担うのが社会的起業といえます。雇用をつくりだし、地域を元気にする市民側からの提案がフードバンクの活動です。

第2に、ミッション（任務、使命）が社会的であるかどうかという点にあります。利益追求ではなく、人のためになる活動かどうか、困難を抱えた人を積極的に雇用しようとしているかがポイントです。貧困、孤立といった社会的に排除された人々が社会で受け入れられる仕組みを社会的起業で担おうという活動です。

第3は、「セルフ・ネグレクト（自己放任）」という状態に陥っている人々に救いの手をさしのべる活動として、フードバンクを提唱したという点です。セルフ・ネグレクトとは、成人が通常の生活を維持するために必要な行為を行う意欲・能力を喪失し、自己の健康・安全を損なうことです。ひどい場合は、必要な食事をとらず、医療を拒否し、不衛生な環境で生活を続け、家族や周囲から孤立し、孤独死に至る場合があると言われています。意欲がない、社会に参加しようとし、人との関わりを拒絶してしまうなど、メンタル不調は近年増加の一途にあります。行政だけにその解決をゆだねても限界があり、地域社会全体による見守りやフードバンク活動のような取り組みで、乗り切っていかなければならない課題です。差別の現れ方が多元化してきている現代にあって、従来の運動スタイルではこの困難を切り拓いていくことは出来ないという問題意識からスタートし、そのためには社会的起業を興すという発想が育まれてきたのであり、目標は、自らで「雇用を創る」ということであり、その活動を通じて人権や環境という社会活動につながって行くということです。



ふーどばんく OSAKA 1 周年記念シンポジウム開催

設立1周年を迎えるに当たり、当法人ではこれまでの活動報告をおこない、今後のさらなる活動の発展に向けての記念討論会ならびにご支援・ご協力をいただいております皆さまとの意見交換会を開催いたします

何かとご多忙とは存じますが是非ご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

みんな来てやあ

♪ 日 時 : 2014 年 5 月 28 日 (水) 午後 4 時～午後 8 時

♪ 会 場 : シティプラザ大阪 (アクセスマップは下記参照)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-31

TEL 06-6947-7888 FAX 06-6947-7855

♪ 内 容 : 第 1 部 記念討論会 (午後 4 時～午後 5 時 30 分)

報告① ふーどばんく OSAKA 活動報告

報告② 食品提供企業として

報告③ 食品配布施設として

第 2 部 意見交換会 (午後 6 時～午後 8 時)

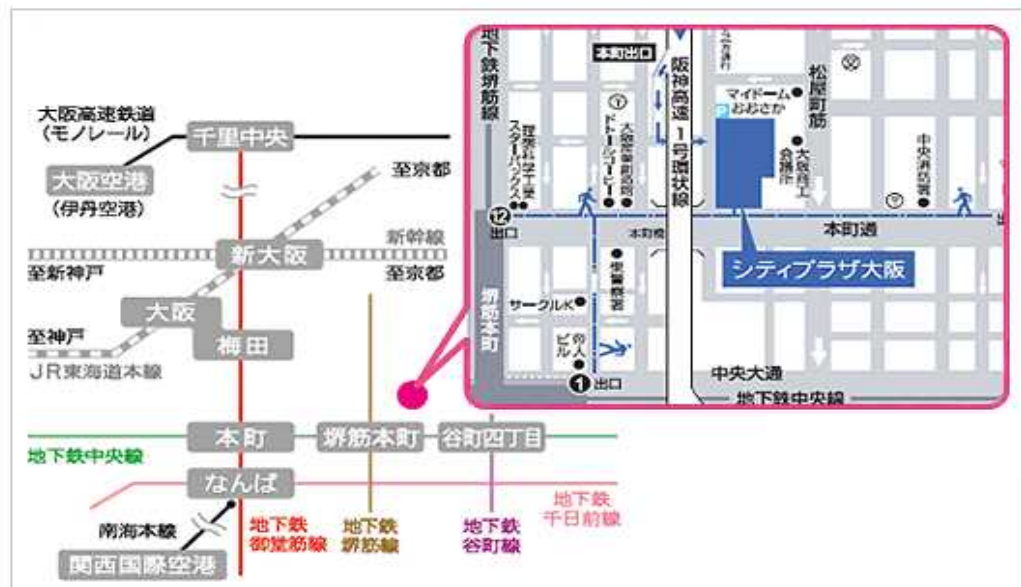
♪ 参加費 : 第 1 部 3,000 円

第 2 部 8,000 円

第 1・2 部 10,000 円

♪ 申込み : ふーどばんく OSAKA 事務局まで

TEL 072-258-2201 FAX 072-275-7763



ふーどばんく OSAKA の趣旨にご賛同いただいた

企業・団体・施設・個人のみなさま

「ふーどばんく OSAKA」設立1周年に、
名刺広告およびご寄付いただいた皆様です。
50音順で掲載させていただいております。

社会福祉法人
あさか会

株式会社 HRC
代表取締役社長
西中 義己
〒552-001
大阪市港区波除4目1番37号
電話 06-6581-8691
FAX 06-6581-8692

一般社団法人
おおさか人権
ネットワーク

一般社団法人
おおさか人材雇用開発
人権センター（C-STEP）
理事長 松本 隆

社会福祉法人
水 平 会
理事長 山中 辰也
TEL072-460-2020
<http://www.horizon.or.jp>

社会福祉法人
たけるの里
指定障害福祉サービス（事業内容）
1.生活介護
（主たる あすか、従たる たちばな）
2.就労継続支援B型（主たる あすか）
3.共同生活援助
（グループホーム）現5ヶ所
〒583-0848 羽曳野市川向85番1
TEL072-959-2062
FAX072-957-7020

社会福祉法人
つながり
理事長 川崎 昭博
高槻市富田町4丁目7番16号
TEL 072-697-7080

日本ブラインド
テニス連盟
会長 桂田 元太郎
詳しくは
[ブラインドテニス](#)で検索を

“福祉でまちづくり”
社会福祉法人
ヒューマンライツ福祉協会
理事長 摺木 利幸

部落解放
大阪府企業連合会
理事長 中井 主蔵
〒552-001
大阪市港区波除4目1番37号
HRCビル7階
電話 06-6581-8602
FAX 06-6581-8604

部落解放
大阪府民共闘会議
議長 石子 雅章

部落解放同盟
大阪府連合会

PROJETO
CONSTRUIR
（プロジェクト コンストルイル）

ブラジルにルーツをもつ子どもたちの
支援を行っています

社会福祉法人
松風福祉会

理事長 高橋 定
松原市南新町2丁目4番28号

社会福祉法人
リベルタ

みんなの広場



ボランティアに参加した方、食品を提供してくださった方・受け取った方など皆さんからお寄せいただいたお声をご紹介します!!

当日参加の
学生ボランティアさん

ボランティア体験デー 第1弾!!



ボランティア体験デー第1弾を、1月25日土曜日に実施しました。
朝10時に集まり、フードバンク活動のオリエンテーリング。
10チームで、27か所をまわります。

仕分けや配送時の注意を確認してから、活動のスタート(^^)／

配送する食品は、磯じまんさまからいただいた釜飯の素、大醬さまから冷し中華スープ、関西国際空港さまからは尾西の白飯をいただきました。ほかに、トマトホール缶、コーヒー、白菜、塩、全8品目。数量に限りがあるため、すべての品目を全施設に配送することができませんでした。

ボランティア参加者からは、届け先の施設の方の笑顔がみれて、こちら笑顔をもらいました。「喜んでもらって、よかったです。今回初めて参加してよかった。」などの感想が多く、施設の方々とのおふれあいが一番だったようです。だからこそ、「参加者やみんなが仲良くなれるきっかけや、施設とこちらの仲を深めるものなどがあれば、もっといいものになるように思いました」

「施設の方ともうすこし、じっくりはなしができればいいなと思いました」との思いもありました。「こういった活動をどんどん広げてもらえたら。ただ、人とお金が必要」・「企業も、廃棄の前にできることを考えてほしい」との要望もありました。

ボランティア体験デー 第2弾!!

去る3月1日(土)に、ボランティア体験デーの2回目が開催され、28か所を16名で配送しました。

ココアオレ、グリーン豆、冷凍ふかし芋、全体ではありませんが、ミンチ肉等の食品を提供することができました。

参加者からは、「自分の知らない世界を知ることができました。自分はただ運んでいるだけなのに、こんなに感謝されて良いものかと思いました。」

「いろんな話をしてくださって楽しかったです。」

「フードバンクの取り組みで、手助けできることがうれしいです。」

「ありがとうと声をかけてもらえた時、嬉しかったです。」

などの感想をいただきました。

堺市在住の方から頂いたお菓子やジュースの入った紙袋2つは、府内の「こどもの家」に。届いたミンチ肉とお菓子に歓声があがったそうです。



ボランティア体験デー 第3弾!!

ボランティア体験デー第3弾の3月29日には、28名の参加がありました。学生さんから人生の余暇をボランティアに捧げている方まで。特に今回は、青年の方に多く参加していただきました。

配送させていただいたのは、ふかし安納いも(老若に人気!）、梅酢たこ(初登場!）、スモークチーズ、ボトルコーヒー等でした。

以下、ボランティアの方の感想と配送時の写真を紹介します。



「なかなか経験できない貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。まだ、食べられる食品を捨てずに役に立てることがとても大切だと実感しました」



「食べ物を粗末にせず、また、誰かの役に立つ良い活動だと思いました!施設の方から話を聞くこともできたので、勉強になりました」



「いつもおもいますが、道路がわかりにくいです。施設におられる方も生活が不便ではないかと思う場所です」



「百聞は一見にしかず。ふーどばんく OSAKA の取り組みを理解するととてもよい体験をさせていただきました」



施設からも、嬉しいお便りいただきました。

ホールトマト缶でラザニアを作りました。

ボランティア体験デーで配送したトマト缶で、調理された食べものの写真が届きました。ラザニアとパスタの写真です。そのほかにも野菜の煮込み料理等にも使われました。

写真を送っていただいたのは、ブラジルにルーツを持つ子どもたちの託児所を運営する団体です。

深夜勤務の保護者を持つ子どもたちは、この託児所に宿泊します。家庭的な雰囲気の中で過ごせるように工夫をしているとのこと。

ブラジルの家庭料理だけでなく、日本のみそ汁などの家庭料理も登場しているようです。



ココアオレ等を配送した母子寮から「お礼状」が届きました。

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は当施設にたくさんの食品をご寄贈いただきまして誠にありがとうございました。

ご寄贈いただきました食品はさっそく利用者に配布させていただきました。利用者も大変喜んでおり、特に母親たちはふだん嗜好品を買い控えているせいか、子どもたちとも一緒にいただけるおやつや飲料に対して笑顔が見られました。

利用者一同に代わり、メールではございますがお礼申し上げます。今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



事務局より

ふーどばんく OSAKA は、このお母さんたちの笑顔を想像して奮起し、これからも企業や個人・行政と食品を求めている団体施設との架け橋となるように頑張ってまいります。みなさんのご支援とご協力をお願いいたします。



集まれ!! ボランティア

あなたもボランティア体験デーに参加しませんか？
詳しくは、メールもしくはお電話でお問い合わせください。

- 日 時 5月17日(土)、 6月21日(土) いずれも10時集合
(配送が終わりしだい順次解散 (4時ごろ))
- 集合場所 ふーどばんく OSAKA (堺市東区八下町 1-122)
- 内 容 オリエンテーリング、食品の仕分け、・施設への配送、報告

福島県にミネラルウォーターを搬送しました。

2月27日に永伸商事さまから頂いたミネラルウォーター「古都の雫」750箱 18000本を福島県に送りました。搬送にご協力いただいたのは、羽曳野市に本社のある篠原陸運(株)さまです。

福島県では、うつくしまNPOネットワークから、住民のみなさんに配送していただけます。

みなさまのご協力で、福島県への搬送が実現することができました。これで、また、ふーどばんく OSAKA のネットワークときずながえました。

ありがとうございました。



ふーどばんく OSAKA に TV 取材がやってきたあ！

ボランティア体験デーに、毎日放送「VOICE」の取材を受けました。まずは、オリエンテーション風景や食品の撮影をしました。

食品の仕分けの最中に参加者へのインタビュー。突然のインタビューにもかかわらず、皆さんの受け答えがしっかりしていて、スゴイ！

こどものいえやホームレス支援団体を撮影し、ふーどばんくの事務室に戻り、参加者の体験談を取材。理事長インタビューを終えたのが、4時を過ぎていました。

それまで、記者の方たちは食事抜きです。「なれてますよ」と一言。5月6日の「VOICE」で放映されました！！



フード仮面



NPO法人 ふーどばんく OSAKA

〒599-8101

大阪府堺市東区八下町 1-122 大阪食品流通センター内

TEL : 072-258-2201 FAX : 072-275-7763

<http://www.foodbank-osaka.jp>

e-mail: info@foodbank-osaka.jp